

清須市男女共同参画プラン【施策体系図】進捗状況数値目標

基本目標	施策	施策の方向	項目	考え方	目標値(H30)	実績値(H30.11.30)	目標値を達成出来なかった理由
1 人権の尊重と男女共同参画社会に向けての意識づくり	1-1 人権の尊重	① 人権に関する啓発活動の推進	街頭人権啓発活動回数	文化展の実施する会場入り口にて実施する	1回/年	3回/年	文化展の他、人権広報大使委嘱状交付式会場及び市内商業施設で啓発活動を実施したため。
			広報車による市内啓発広報活動回数	人権擁護委員の日(6/3)、人権週間(12/4)に合わせて実施する	2回/年	1回/年	1回は、12月に実施するため。
		② 人権教育の推進	人権講話実施小・中学校数	人権週間(12/4~10)に合わせて実施する。	12校(市内全校)	3校	3校以外、12月以降に実施するため。
			人権講話実施児童館数	夏休み期間中に実施する。	8館(市内全館)	8館(市内全館)	
		③ 人権相談窓口の充実	人権よろず相談実施回数	奇数月に市内4地区を持ち回りで実施する。	6回/年	4回/年	1月、3月が未実施のため。
			特設相談(人権擁護委員の日)	人権擁護委員の日(6/1)に合わせて市内4地区で実施する。	4地区	0地区	今年度のみ特設相談を、街頭での啓発活動に変更したため。
2 政策・方針決定過程への男女共同参画の拡大	2-1 市におけるポジティブアクションの推進	① 附属機関、委員会等への女性委員登用の推進	表彰者審査委員会	女性委員の登用人数を確保する。	5人	5人	
			特別職報酬等審議会	女性委員の登用人数を確保する。	30%以上	—	未開催で委員の委嘱実績無し
			清須市学校給食センター運営委員会の女性登用率	委員の女性登用を積極的に行なう	10人	13人	
			都市計画審議会への女性委員の登用人数	女性委員の登用人数を確保します。	2人	2人	
			公共用地等検討審議会への女性委員の登用人数	女性委員の登用人数を確保します。	3人	3人	
			清須市ごみ減量化等推進委員会	女性委員の登用人数を確保します。	12人	12人	
			防災会議への女性委員の登用人数	女性委員の登用人数を確保します。	2人	2人	
			市の委員会・附属機関等における女性委員の割合	清須市第2次総合計画(基本計画)では、施策の成果に係る数値目標として左の項目を設定している。	30.0%以上(H32.4.1)	27.45%	目標が達成できていない会議では、企業や団体、行政機関の代表等で参画しており、個人への委嘱が困難であるため。
			農業委員	委員会等への女性委員登用	1人	0人	農業の性質上、男性が中心
			農地利用最適化推進委員	委員会等への女性委員登用	1人	0人	農業の性質上、男性が中心
3 家庭や地域社会における男女共同参画の拡大	3-2 防災分野における男女共同参画の促進	① 防災分野への女性の視点の盛り込み	ブロック自主防災組織の規約の策定率	基礎的単位としてのブロック化を推進する	38ブロック	38ブロック	
5 福祉の充実と生涯にわたる心身の健康づくり	5-2 生涯を通じた健康づくりへの支援	① 男女の健康づくりへの支援	1-a.乳がん検診受診率 1-b.子宮頸がん検診受診率	女性はライフサイクルを通じて男性とは異なる健康上の問題に直面する。女性ががん検診時に女性の健康についてもう一度見直していただく機会にする。	1-a 50% 1-b 50%	1-a 21.3% 1-b 19.8%	国、県の目標受診率に合わせ設定しているが、市の受診率は低率。
			2-a 自殺者の減少 2-b ゲートキーパー養成講座等への参加者数	悩んでいる人に声をかけをし、必要に応じて相談機関を紹介することができるゲートキーパーの方を増やすことで、やさしいまち清須をめざす。	2-a 10人以下 2-b H24年~30年まで延べ400人受講(フォローアップ含)	2-a 11人(H29) 2-b H24年~30年まで延べ405人受講(フォローアップ含)	2-a 自殺の原因は様々だが、社会経済状況が影響するため直近値のH29は目標値より高くなった。
			3. 食生活改善推進員数	会員数の増加のみならず、男性会員が加わることで大きな健康の輪が広がり将来の住みよいまちづくりにつながる。	75人(うち男性会員10人)	47人(うち男性7人)	会員の高齢化が進み、年齢を理由に退会される方がいる。
		② 母子の健康づくりへの支援	ハイリスク妊婦のフォロー率	妊娠期からの関わりをもち支援をすることで虐待の予防・早期発見等にも繋がる。	100%	51人(75.6%)	今年度中に支援予定。
			思春期教室の開催校数	性を含めた身体を大切にすることを育むことが、生涯を通じた健康に繋がる。	4校	0校	校長会でPR、今後以来があれば出向く予定。地域の支援サークルの連携により思春期教育を11月に実施。2月に新川高校、西枇杷島中学校にて教室実施予定。
			パパママ教室の参加者数	市の施策やサービスの利用や、仲間作りが、安心した出産や子育てに繋がる。	300人	199人	年度末に達成見込み。
			ゆったりとした気分で過ごせる時間のある母親の割合(4か月児・1歳6か月児・3歳児健診時)	市の施策やサービスの利用や、仲間作りが、安心した出産や子育てに繋がる。	増加	4か月児:85.3% 1歳6か月児:73.7% 3歳児:70.7%	維持している。今後増加に向けて子育て支援を充実させる。